

会 議 要 旨

1 会 議 名 第5期北九州市人権施策審議会 第6回会議

2 議 題

(1) 北九州市の人権相談について

(2) 北九州市人権行政指針の改訂について

3 開催日時 平成29年5月8日(月) 15時00分 ～ 17時00分

4 開催場所 北九州市人権推進センター 研修室

5 出席した者

(委 員) 稲積謙次郎会長ほか委員11人 計12人

(事務局) 保健福祉局長ほか事務局関係者12人 計13人

6 議題、議事の概要

(1) 北九州市の人権相談について

人権文化推進課長から、北九州市の人権相談の概要について説明。

【主な質問や意見】

○ 平成28年度から障害者差別解消法が出来たことに伴い障害者差別解消相談コーナーを人権推進センターの人権相談窓口の近くに設置しているが、障害者差別に関する相談件数が増えているか。

また、専門的な窓口へ繋ぐ等の連携が出来ているか。

(回答)法が整備された事で、関心を持った方からの相談が若干であるが増えている。

また、障害者からの相談の場合は、ケースによっては障害者差別解消コーナーの担当者も同席し、人権擁護委員と連携を取りながら相談者の望む解決に繋がるように努めている。

○ 市の HP の市内相談窓口一覧には「障害者差別解消相談コーナー」の記述がない。

(回答)対応する。

○ 市民サイドから見たときに市内相談先一覧を見ても、どこに相談したら良いのか分かりにくい。ワンストップ的な部署を設けて、そこで選別出来るような体制を整えてはどうか。

(2) 北九州市人権行政指針の改訂について

人権文化推進課長から、前回会議でいただいた意見を踏まえた改訂案について説明。

【主な質問や意見】

- 部落差別の解消の推進に関する法律を受けて、北九州市として部落差別解消に対してどのように対応していくのか。
(回答)現在、国が方針を示すのを待っている段階である。
- 学校教育現場における同和教育の指導者の育成をお願いしたい。
(回答)採用1～2年の教職員に対して、同和問題を重点的に研修している。
また、各学校内でも研修に取り組んでいる。
- 人権擁護委員をもっと活用してほしい。
- 子どもの虐待防止に関連して、ペリネイタルビジット事業に触れてはどうか。
- HIV・エイズに関して、ウィルスと病名については区別した方が良い。
- 介護施設での虐待防止についても加えた方が良いのではないかと。
- 国の実態調査を踏まえて、高齢者の虐待問題については問題であるとの表現があった方が良い。
- 同和問題については、他の人権問題とは異なる基本的な問題であることを強調した方が良いのではないかと。
(回答)同和問題の位置付けについてはよく検討したい。
- 元々は同和对策事業は行政の中でも重点的な施策としてあったが、特別措置法廃止以降に他の人権課題が派生してきたこともあり、同和問題の位置づけについて様々な意見が出てくるようになった。その流れの中で、今回の法律が出来ており、慎重に対応すべき。
- 同和問題の解決に向けての冒頭に、「国民的課題である」という言葉を入れてはどうか。
- 現在インターネットによる差別事象が考えられるため同和問題は就労差別等、重大な問題である。

(問い合わせ先)

北九州市保健福祉局人権推進センター人権文化推進課

電話番号 (562-5010)